

1

こうち  
高知県高知市

ジビエ

鳥獣被害防止

学生・若者の  
活躍



こうちしょうぎょうこうとうがっこう

しょうひんかいほつ・はんぱいそくしんぶ

## 高知商業高等学校ジビエ商品開発・販売促進部

～ジビエを通じた循環型社会貢献活動～



高校生ジビエ・レストラン出店



植樹活動への参加

### 経緯

○森林率全国1位の高知県ではニホンジカやイノシシなどの野生鳥獣被害が深刻な地域課題の一つとなっている。野生鳥獣の食害被害状況や昨今のハンター不足と高齢化の現状、ジビエ利活用の可能性の話に興味を示した生徒たちがこの課題解決に向け活動を開始する。平成30年4月設立。

### 取組内容

○高校生が鳥獣被害という課題解決に向けジビエ利活用商品を開発。  
○消費者からのアンケートをもとに、高知県産の赤牛や規格外野菜を使用したジビエ商品を考案し、高校生ジビエ・レストランの出店により提供。  
○販売利益をシカなどの食害を受けた森林保護活動に寄付するとともに、実際に植樹活動に参加。

### 活動の効果

○一連の活動がきっかけで、「森林保護で陸の豊かさを守り、よりよい社会形成の実現に貢献する」という明確な活動目的を、生徒たちが自ら発見することができた。  
○地域での販売会では高校生の頑張りを多くの方に応援いただくとともに、購入者の約80%が「ジビエと高知の有名食材(土佐あかうしや四万十ポーク、四万十鶏など)の組み合わせで、ジビエでも食べてみたくなる」と回答するなど、ジビエに対する抵抗感や先入観を緩和。令和4年度でジビエ利用数量1トンを達成する見込み。

### 応募団体からのアピール・メッセージ

私たちはジビエ利活用による商品開発・販売活動にとどまらず、その利益を森林保護活動に寄付しています。森林県高知の持続可能な社会づくりに貢献していきます。

高知市大谷6番地 Tel: 088-844-0267

にゅうがうちだいこん

かい

## 入河内大根のこそう会

～「入河内大根」で地域おこし～



学生の収穫体験



入河内大根を使った料理

## 経緯

- 入河内地区だけで栽培されてきた伝統野菜であった入河内大根が、他の大根と交雑して失われる危機に直面。
- 平成18年、地域の農家を中心に入河内大根の栽培を通じた地域活性化のため、「入河内大根のこそう会」を結成。

## 取組内容

- 共同圃場(2a)を設け会員が共同で栽培。収穫体験や調理の体験交流など、まちとむらの交流を促進。
- 野菜ソムリエ等を通じて、県内有名ホテル、レストラン、料亭等に提供。
- 地元の指定管理者の温泉施設と連携し、「入河内大根」をメニュー化。
- 量販店や市場を通じた販路の拡大。

## 活動の効果

- 入河内大根を使った料理がメニュー化され、高知県を代表する伝統野菜としても知名度が向上し、地域住民の意識も変わり、入河内大根が地域の代表作物であると誇りを持つようになった。また、入河内大根が地域内外とのコミュニケーションの媒介として大きな役目を果たしている。
- 地区住民に種を無料配布し、栽培人口が17人から20人に増加(H25→R2)。栽培面積も休耕田を活用し、30aから40aに増加(H25→R2)。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

入河内大根の伝承のため、栽培や調理方法の研究、レシピの配布などに取り組んでいます。

にしきこ かい  
西佐古みどりの会

～地域住民が一体となった農村環境づくり～



遊休農地発生防止のための保全活動



咲き誇るアジサイ

## 経緯

- 平成21年6月に地元自治会を中心として「西佐古みどりの会」を設立し、農村環境保全の一環として景観形成・生活環境保全活動の取り組みを開始。
- 農業者・地域住民・団体が一体となった体制をつくり、農地維持・地域資源の向上に取り組む。

## 取組内容

- 農業者・地域住民・団体が一緒となった体制をつくり、水路の草刈り等の農地維持・地域資源の向上に取り組んできた。
- 毎年3回（5月・7月・10月）、自治会が中心となり、地域住民と連携したアジサイの植栽・剪定・草刈り・清掃等、きめ細やかな活動で景観形成に貢献。

## 活動の効果

- 地元の農業者だけでなく土地持ち非農家や地区の団体と協力して農道・水路の草刈り等の維持管理を行うことで、地域の団結力が深まる。
- 農村環境保全活動によるアジサイの植栽活動により地域住民との交流も図られるなど、高齢化で厳しい状況の集落に明るい希望を与えた。
- アジサイの植栽が地域の観光スポットになるなど地域内外の住民の交流の場が広がり、地域の活性化に繋がっている。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

開花中の6月には、毎年TV局が取材に訪れており、1.2kmに及ぶ約19,000株のアジサイを、地元だけでなく県内外から多くの愛好者が観賞に訪れます。家族連れや友人の方と一度のんびり歩いてみませんか？

高知県香南市野市町西佐古534 Tel:0887-56-2233

4

もとやま  
高知県本山町

鳥獣被害防止

環境保全・  
景観保全

交流人口の  
拡大



よしのぶえいのうくみあい  
吉延営農組合

～吉延の自然・棚田の原風景を将来へ～



吉延集落の棚田



田んぼアート田植え作業の様子

### 経緯

- 平成12年から中山間地域等直接支払制度の参加をきっかけに、地域の農地を地域で守っていくという意識が醸成。
- 共同で農道の舗装や機械の購入・利用を進め、農村環境の保全や持続可能な営農体制の確立を図り、平成19年1月に吉延営農組合を設立。

### 取組内容

- イノシシによる水稻被害が増加したため国からの交付金を活用し、防護柵を設置。
- 集落内へのライスセンターの設置、営農組合で使用する共同機械を整備し農作業を受託するなど、高齢者も営農が可能な体制づくりに取り組む。
- 高知大学や各関係機関と連携し、田んぼアート、棚田コンサートや棚田散策ツアーを開催し、交流人口の拡大を図る。

### 活動の効果

- 共同機械の整備、農作業受託や鳥獣被害防止対策などに取り組んだことにより、集落内で持続可能な営農への体制づくりに繋がっている。
- 地域資源である棚田を活かしたイベントの実施や棚田を見渡せる展望台と駐車場を整備、県内外からも人が訪れるようになった。
- 加工品開発、地域の伝統行事も当組織が中心を担うなど、地域活性化を目指した発展的な活動にも広がりができ、他地域のモデル的な組織となっている。

### 応募団体からのアピール・メッセージ

農地の保全活動にとどまらず、地域活性化を目指した発展的な活動にも広がりを見せ、集落になくはならない組織となっています。組織の体制強化や人材確保に努め、農村環境の維持・発展を目指します。

高知県長岡郡本山町本山504(本山町まちづくり推進課) Tel:0887-76-3916

のうじくみあいほうじん

じょうとう

## 農事組合法人 上東

～未来へ生き生きと暮らせる上東を目指して～



農事組合法人上東 設立総会



ドローンによる試験防除作業

## 経緯

○平成12年度から各集落(6協定)で中山間地域等直接支払制度に取り組んでいたが、耕作者の高齢化及び担い手不足による農地荒廃等の課題が生じた。平成21年度に地域の農地維持の核組織「上東地区営農組合」を設立し、統合。平成31(2019)年1月に「農事組合法人上東」を設立。

## 取組内容

- 荒廃農地を再生し、地域の農地を守る活動を開始。集落営農組織主体で水稲機械の共同利用や農作業の受託に取り組む。
- 酒米の栽培やニラ、加工用ワサビなど新たな園芸品目を導入。
- 親子層を対象とした水稲農作業体験を実施し、都市住民との交流を図る。

## 活動の効果

- 共同機械の利用面積の維持拡大。
  - 農作業受託面積及び新規作物(ニラ、加工用ワサビ等)の栽培面積拡大。
  - ユズ栽培による耕作放棄地の解消及び発生防止。
  - 「カタシの花祭り」の開催を通じてミュージシャンの山村誠一氏とつながり、共同で上東PAN(スティーレパン)の学校運営開始。地区外の上東地区ファンが増加。
- 平成27年度多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰 中山間地域等直接支払部門最優秀賞受賞

## 応募団体からのアピール・メッセージ

地域住民一体で、中山間地域での農業の大切さ、農村集落の素晴らしさ、田園風景の維持に取り組んでいます。上東PANの学校を見に来てください。

高知県吾川郡いの町上八川甲1934(いの町吾北総合支所産業課) Tel:088-867-2313

## おのおみエコロジーファーマーズ

～自然を大切にしながら消費者に選ばれる米作り～



大野見小学校児童との水生生物調査



高知県立大学COME☆RISHの稲刈り体験

## 経緯

- 古くからおいしい米の産地として知られる大野見地区において、大野見米を通じて地域・農業の活性化に取り組む「おのおみエコロジーファーマーズ」。
- 大野見米をとおして、将来に望みの持てる産業を確立し、環境保全型農業で四万十川源流域の豊かな自然を次世代に引き継ぐ活動を行う。

## 取組内容

- 高知県立大学健康栄養学部の学生で結成された「COME☆RISH」と連携し、大野見エコ米のPR活動を実施。
- 地域の将来を担う小・中学生に、環境保全型農業を行うほ場周辺にどんな生物がいるかを調査する「学外・地域体験学習」を実施。

## 活動の効果

- 学外・地域体験学習により、将来を担う小・中学生が地域に愛着を持ち、地元で就農することを考える契機となることを期待する。
- 米の栽培に使用する肥料を大野見地区で出た牛堆肥を用い、畜産施設からの廃棄物の地域内循環を実現している。
- ブランド米を栽培する農業者・団体を視察し、稲作の栽培基準や栽培方法等を見直した。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

化学肥料、化学農薬を地域慣行栽培の半分に抑える環境保全型農業により、水路や河川がきれいになり、活動も徐々に実を結びつつあります。今後も活動を継続し、大野見で農業や稲作で生きていけるよう頑張ります。

とくていひえいりかつどうほうじん

にし

## 特定非営利活動法人ゆすはら西

～ジビエでマイナスからプラスへ～



獣肉解体処理施設の建設とジビエカーの導入



小学生が自由課題でジビエを取上げ 食育へ!

## 経緯

○農産物への獣害をなくすために、捕獲するシカやイノシシ等の命を無駄にしたくないという思いから、有効活用策として自家消費をする動きが出始めた。ここから発展した「『ジビエ』をお金に換える仕組み」として NPO 法人を設立し、人も物もお金も循環する活力ある地域づくりを開始した。

## 取組内容

- 獣肉解体処理施設の建設と、ジビエカーの導入(平成29年度)。
- 上記の運営者となる特定非営利活動法人ゆすはら西を設立(平成30年3月)。
- 元ゆすはら応援隊員や移住者等の担い手人材を雇用(平成30年4月)。
- 農林水産省の「国産ジビエ認証」を県内で初取得(令和元年12月)。
- コロナ禍においても、新たな商品開発や梶原町のジビエの魅力を発信。

## 活動の効果

- ジビエカーを導入し、松原地区を中心に運用することで施設への安定的な搬入を行ったことにより、獣肉解体処理施設稼働1年目にして搬入計画頭数を達成し、ジビエの安定的な供給を強みとして販路拡大につなげている。
- 自立を目指し自分たち自身が動かなければいけないという思いで取り組んだことが評価され、自分たちの気づきや自信につながった。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

子供たちへの食育、そして将来の担い手の育成へ、さらには地域内外の交流の場の創出へとつなげていきます。

かぶしがいしや

## 株式会社とおわ

～四万十食文化伝承! 伝えていこうとおわのわ～



十和地域に住むおかみさん達



若い道の駅スタッフとともに新たな食文化の発信

## 経緯

- 四万十町十和地域の深刻な地域課題となっている「高齢化」「産業衰退」「地域コミュニティの衰退」等に立ち向かうべく、十和地域の住民が株主となり2020年7月に「株式会社とおわ」を設立。
- 四万十の食文化を次世代に繋げていくために、地域の若者を積極的に雇用。(正社員9名の平均年齢は30代前半)

## 取組内容

- (株)十和おかみさん市と連携した郷土料理バイキングの実施。
- バイキングの発展形として、高知市や東京都での出張バイキングや、人気メニューの「原木シイタケのたたき」のタレの商品化、テイクアウトできる「バイキング弁当」の開発。
- 食文化や調理法を継承するためのレシピの書きおこしとコロナ禍での活動。

## 活動の効果

- 2007年から開始した(株)十和おかみさん市と連携した郷土料理バイキングも、2020年度はコロナ禍で中止となったが、2021年度に四万十流域バイキングとしてリニューアルし、道の駅スタッフも一緒に調理を行い、郷土料理レシピの書きおこしやコロナ対策として大皿から小鉢スタイルへの変更等を行い、1,000名の集客は見込まれる。また、バイキングを継承することで、地域の雇用の創出や、地域で収穫した野菜を食材として買い取ることによる一次産業の活性化、食文化の継承も期待される。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

高齢化により継承が危ぶまれるおかみさん市の取り組みを組織として継承し、若い地域住民と共に新しい考え方を取り入れた持続可能な食文化を目指していきます。

高知県高岡郡四万十町十和川口62-9 Tel:0880-28-5421